SUBSTRATE FOR INFORMATION RECORDING MEDIUM AND MASTER DISK FOR PRODUCTION THEREOF

Patent number:

JP1315044

Publication date:

1989-12-20

Inventor:

TANAKA TOSHIMITSU

Applicant:

CANON KK

Classification:

- international:

(IPC1-7): G11B7/24; G11B7/26

- european:

Application number:

JP19880144661 19880614

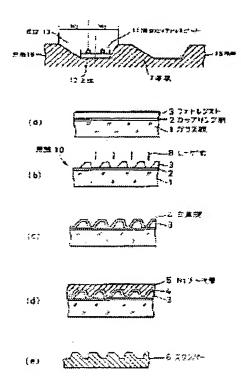
Priority number(s):

JP19880144661 19880614 ,

Report a data error here

Abstract of JP1315044

PURPOSE:To smooth the flow of a resin at the time of molding the resin substrate and to decrease the double refractive index thereof by providing grooves for tracking guides or address pits in such a manner that the sectional shapes of said grooves or pits are asymmetrical with the center line running the transverse center of the top side at the time of forming said grooves or pits on the substrate for media. CONSTITUTION: A photoresist 3 is provided via a coupling agent 2 which is an adhesive agent on the glass substrate 1 and is irradiated with laser light 8 via a mask, not shown in the figure, by which the tracking guide grooves or address pits are provided. A metallic film 4 consisting of Ni, etc., is thereafter deposited along the surface of the resist 3 formed in such a manner and is coated with an Ni plating layer 5. A stamper 6 is obtd. by stripping the film 4 and the layer 5. The groove or pits are formed to the shapes which are tapered steeply on an outer circumferential 16 side and gently on an inner side 15 as shown in the figures. The flow of the resin is smoothed at the time of the formation if the resin substrate is formed by using the stamper 6 obtd. in such a manner.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

平1-315044

®Int, Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成1年(1989)12月20日

G 11 B 7/24

B-8120-5D 8120-5D

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全5頁)

図発明の名称 情報記録媒体用基板およびその製造用原盤

②特 顧 昭63-144661

郊出 願 昭63(1988)6月14日

@発明者 田中 登志満

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

⑪出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

個代 理 人 弁理士 渡辺 徳廣

in a B

1. 発明の名称

情報記録媒体用基板およびその製造用原盤 2、特許請求の範囲

(1)トラッキングガイド用褥またはアドレス ピットを有する情報記録媒体用基板において、前 記トラッキングガイド用褥またはアドレスピット の形状が縛またはピットの上辺の巾の中心を通る 中心線の左右の断面形状が非対称に形成されてい ることを特徴とする情報記録媒体用基板。

(2)トラッキングガイド用調またはアドレス ビットの断面形状が台形、V形またはU形で、か つ調またはビットの上辺の巾の中心が底辺の巾の 中心よりも内間に位置する形状からなる請求切1 記載の情報記録媒体用基板。

(3) 協規記録媒体用基板にトラッキングガイド 用請またはアドレスピットを転写するためのスタンパーを作成する情報記録媒体用基板製造用原盤 であって、該原盤に設けられたトラッキングガイ ド川線またはアドレスピットを転写する凹部の形状が映凹部の底辺の巾の中心を通る中心線の左右の所面形状が非対称に形成されていることを特徴とする竹根記録媒体用芸板製造用原盤。

(4) 原盤に設けられた凹部の断面形状が台形で、かつ凹部の底辺の巾の中心が上辺の巾の中心 よりも外層に位置する形状からなる請求項3 記載 の情報記録媒体用基板製造用原礎。

3. 発明の詳細な説明

[産築上の利用分野]

本発明は情報記録媒体用蓝板(以下、芸板と記す)およびそれを製造するための成形用スタンパーを作成するための展盤に関するものである。 【従来の技術】

従来、情報記録媒体用基板製造用原盤(以下、 原盤と記す)は各種のものが知られているが、そ の原盤の製造力法の一例を下記に示す。

する (第5図(a) 参照)。

大いで、マスクを通してレーザー光目で露光した技、現像する事によりパターンを形成するの金属版4を設ける(第5図(c) 参照)。その後、金属版4を設ける(第5図(c) 参照)。その後、5図(d) 参照)。次いで、金属版4と hiメッキ 暦 5を 形成する (第5図(d) 参照)。次いで、金属版4と hiメッキ 暦 5を 原盤から針離することよりスタンバー 6を 存 事 5 図とができる (を) 参照)。この製造に示するとができるしーザー光が用いられる。 [条明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記のような方法で得られた原 壁のパターンの断面形状は、原盤に設けられたト ラッキングガイド用請またはアドレスピットを転 写する凹部の形状が駄凹部の底辺の巾の中心を通 る中心風の左右の断面形状が対称に形成されてい る。したがって、その原盤から整造したスタン パーを用いて成形した基板は、第6図に示すよう に、トラッキングガイド用縛またはアドレスピッ トロの形状が調またはピットの上辺12の巾(2.1+2.1)の中心を通る中心線の左右の断面形状が対称に形成され、前記講またはピットの上辺12の巾の中心と底辺13の巾(w.+w.)の中心とが一致した形状に形成されている。

そのために、前記原盤を使用してインジェクション成形などにより、トラッキングガイド用橋またはアドレスピットを有する樹脂基板を作成する場合に、樹脂がスタンパー製面を洗れる抵抗は大きくなるために樹脂の流れが悪くなり、樹脂芸板の複品折率を小さくすることが困難となり、また樹脂の乱流による外観不良などの光学的特性が 駆くなる。

さらに、 樹脂基板の転写性も悪くなるため良好 な信号が得られない欠点があった。

未免明は、上記の様な従来の欠点を改善するためになされたものであり、 基板の成形時に関脂の流れがスムーズとなり、 成形不良の少ないしかも 復居折事が小さい等の光学的特性の優れた基板を 仰ることができる原盤、および禁原像を使用して

得られた複屈折率が小さい等の光学的特性の優れた基板を提供することを目的とするものである。

[課題を解決するための手段]

即ち、本苑明の第一の苑明は、トラッキングガイド用婦またはアドレスピットを有する情報記録 媒体用芸板において、前記トラッキングガイド用 講またはアドレスピットの形状が講またはピット の上辺の巾の中心を通る中心線の左右の断面形状 が非対称に形成されていることを特徴とする基板 である。

また、前記基板のトラッキングガイド用請またはアドレスピットの断面形状が台形、V形またはU形で、かつ講またはピットの上辺の巾の中心が 匹辺の巾の中心よりも内周に位置する形状に形成 されていることが好ましい。

また、第二の発明は、基板にトラッキングガイド用練またはアドレスピットを転写するためのスタンパーを作成する緊塞であって、鉄原盤に設けられたトラッキングガイド用講またはアドレス

ピットを転写する凹部の形状が 数凹部の底辺の巾の中心を通る中心線の左右の断面形状が非対称に 形成されていることを特徴とする原盤である。

前記原盤に設けられた凹部の断面形状が台形で、かつ凹部の底辺の巾の中心が上辺の巾の中心 よりも外周に位置する形状に形成されていること が好ましい。

[作用]

本発明の気盤は、蓝板にトラッキングガイド用調またはアドレスピットを転写するために改みたるの形状が、被凹部の底辺の巾の中心を通る中心級の左右の断面形状が非対称に形成直接の転び性がよくなり、樹脂が前辺原盤により作成されたスタンパー装面を挽れる延振がはなくなったの後による外側でくすることができる。

[实施例]

次に、図面に示す実施例に基づき本発明をさら

に具体的に説明する。

実施例1

新1図は木発明の基板の一例を示す部分説明 図、第2図は木発明の原盤の一例を示す部分説明 図、第4図(a) ~(c) はスタンパーの製造方法を 示す工程図である。

第4図において、先ず、厚さ3~10mmのガラス板1上に、HMDS(ヘキスト酵製)のようなカップリング剤(密着剤)2をコートした後、その上にフォトレシスト(ヘキストAZ-1350、ヘキスト酵製)を0.1~0.2μmの厚さに整布する(第4図(a) 4個)。

次いで、マスクを通して第7図(b) に示すよう
なエネルギー分布をもったレーザー光8で露光し
た後、現像する事によりパターンを形成する(第
4図(b) 参照)。次に、パターン上に N1などの念
風膜 4 を改ける(第4図(c) 参照)。その後、金
風膜 4 の上に N1メッキ層 5 を形成する(第4図
(d) 参照)。次いで、金属膜 4 と N1メッキ層 5 を
原盤 10から剝離することよりスタンパー 6 を得る

ことができる(第4図(e)参照)。

上記の様にして得られた原盤10の形状は、第2 図に示す様に、原盤10に設けられた凹部14の断面 形状が台形で、かつ駄凹部14の底辺13の巾(w。 +w。)の中心と上辺12の巾(ℓ。+ℓ。)の中 心とが不一致の形状からなるなる。

[実施例 2]

第3回は本発明の基板の他の例を示す部分設明 図である。

阿図に示す様に、 33光時のレーザー光のエネルギー分布の変化や現像条件を変えることに応じ

て、トラッキングガイド用調またはアドレスピット 11を多数の変曲点をもつような曲線となるような形状にも形成できる。

[発明の効果]

以上のように、本発明によれば、露光用レーザ 光のエネルギー分布をコントロールするなど。 り、トラッキングガイド用講またはアドレスピットを転写する凹部の中心線の左右の断面形状が非 対称で異なる反應を得る事ができるために、 映原 盛から得られるスタンパーを使用して基板を成形 する時に樹脂の変れがスムーズとなり、 成形不良 の少ない、 しかも 複足折率が小さいなどの光学的 特性の優れた路板が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の基版の一例を示す部分説明 図、第2回は本発明の原盤の一例を示す部分説明 図、第3回は基版の他の例を示す部分説明図、第 4回(a)~(c) はスタンバーの製造方法を示す工 程図、第5回(a)~(c) は従来のスタンバーの製 造方法を示す工程図、第6回は従来の基版の一例 を示す部分説明図および第7図(a),(b) は各々従来例, 本発明に用いられるガウス分布を有するレーザー光の説明図である。

1 --- ガラス板 2 --- カップリング剤

3 … フォレジスト 4 … 金属膜

9 --- マスク 10 --- 紅 母

11--- 初またはアドレスピット

12--- 上辺 13--- 底辺

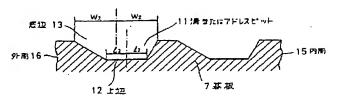
14--- 凹部 15--- 内周

16--- 外周

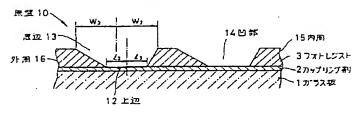
出願人 キヤノン株式会社

代理人 拨 辺 穂 以

第1 図



第2図



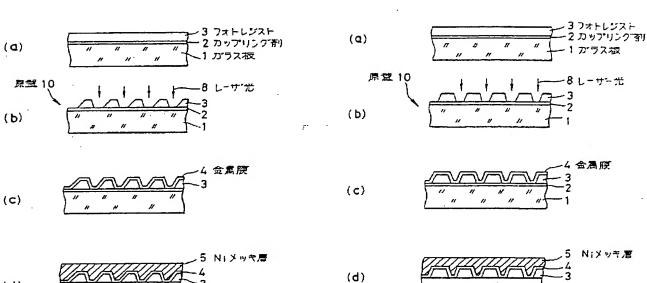
第3図



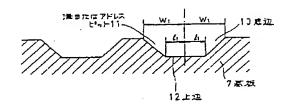
第 4 図

(d)

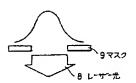
第5図



第6図



第7図(0)



第7図(1)

